

報徳 甲子園へ

明石商破り6年ぶり



第106回全国高校野球選手権兵庫大会最終日は28日、神戸市須磨区のほっともっとフィールド神戸で決勝が行われ、報徳が4-0で明石商に勝ち、2018年の東兵庫大会以来6年ぶり16度目の優勝を飾った。

報徳は西宮市の甲子園球場で8月7日に開幕する全国高校野球選手権大会に兵庫代表として出場する。春の選抜大会では2年連続で準優勝しており、躍進が期待される。組み合わせ抽選会は8月4日に大阪市内で行われる。

報徳は準決勝で延長十回タイブレークの末、3連覇を狙った社に5-4でサヨナラ勝ちした。決勝では六回に橋本友樹遊撃手の適時打で1点を先制。八回には無死満塁から橋本の適時打と徳田拓朗捕手のスクイズで3点を追加した。先発の今朝丸裕喜投手は5安打完封した。

6年ぶりの優勝を決め、喜びを爆発させる報徳の選手たち
28日午後、ほっともっとフィールド神戸(撮影・中西幸大)

先登
メンバー【明石商】水田 浦川 田原 山一 井徳【報徳】村留 井藤 本岡 田田 今朝丸
⑤清橋 ②松井 ⑥上藤 ⑧陰山 ⑨藤 ①藤 ⑤西福 ⑧安齊 ③橋山 ④徳安 ⑦今朝丸